

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農道整備事業（一般農道整備事業）	都道府県名	北海道	地区名	音標
-----	------------------	-------	-----	-----	----

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		2 8 3 , 5 0 0 千円	
年 効 用		2 7 , 0 9 6 千円	
廃 用 損 失 額		1 2 , 3 0 0	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		4 1 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 1	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5 1 8 , 9 9 4 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 8 3	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	6 0 5	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草
営農経費の節減	維持管理費節減効果	6 3 0	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	2 4 , 5 5 5	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車両走行に要する経費の節減 対象作物：牛乳、牧草
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	1 , 3 0 6	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
計		2 7 , 0 9 6	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農道整備事業（一般農道整備事業）	都道府県名	北海道	地区名	北昭和２期
-----	------------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		6 9 9 , 8 4 1 千円	
年 効 用		4 1 , 2 0 7 千円	
廃 用 損 失 額		3 , 8 5 1	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		3 7 年	当該事業の耐用年数
還元率 × (1 + 建設利息率)		0 . 0 5 3 2	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	7 7 0 , 7 1 7 千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1 . 1 0	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1 , 8 9 8	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：馬鈴薯、大根、甜菜等
	品質向上効果	9 , 1 8 6	舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：馬鈴薯（食用）、大根
営農経費の節減	維持管理費節減効果	3 , 5 8 3	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	1 9 , 1 4 6	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：馬鈴薯（食用）、かぼちゃ、大根、豆類、牧草等
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	4 , 3 2 8	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	3 , 0 6 6	農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減等
計		4 1 , 2 0 7	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農道整備事業（一般農道整備事業）	都道府県名	北海道	地区名	南新得２期
-----	------------------	-------	-----	-----	-------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,802,873千円	
年 効 用		107,782千円	
廃 用 損 失 額		7,308	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		37 年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0532	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	2,016,387千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.11	

２．年効用の総括

項 目	年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	3,756 砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：馬鈴薯、大根、甜菜等
	品質向上効果	1,188 舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：馬鈴薯（食用）、大根
営農経費の節減	維持管理費節減効果	11,090 農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	55,378 農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車輛走行に要する経費の節減 対象作物：甜菜、馬鈴薯、小麦、牧草、デントコーン、牛乳
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6,360 老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	29,710 農道の改修整備に伴う一般交通車の車輛走行に要する経費の節減等
	景観保全効果	300 並木の整備によって地域と調和のとれた景観が創出される効果
計	107,782	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農道整備事業（一般農道整備事業）	都道府県名	北海道	地区名	東栄２期
-----	------------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		1,470,458千円	
年 効 用		96,015千円	
廃 用 損 失 額		3,962	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		38 年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋建設利息率）		0.0526	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,821,418千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.23	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	3,977	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：馬鈴薯、菜豆、甜菜、小麦、大根等
	品質向上効果	7,671	舗装に整備することで、農作物運搬時の荷傷み被害が防止され品質が向上 対象作物：馬鈴薯（食用）、大根、人参
営農経費の節減	維持管理費節減効果	4,856	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	69,521	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車両走行に要する経費の節減 対象作物：馬鈴薯、菜豆、小麦、大根、人参
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	5,692	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	4,298	農道の改修整備に伴う一般交通車の車両走行に要する経費の節減等
計		96,015	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農道整備事業（一般農道整備事業）	都道府県名	北海道	地区名	黄金２期
-----	------------------	-------	-----	-----	------

１．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		717,804千円	
年 効 用		47,421千円	
廃 用 損 失 額		38,346	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		35年	当該事業の耐用年数
還元率×（１＋ 建設利息率）		0.0546	総合耐用年数に応じた効用から総 便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	830,170千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.16	

２．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1,307	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草
営農経費の節減	維持管理費節減効果	4,559	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	33,125	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車両走行に要する経費の節減 対象作物：牛乳、牧草
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	6,879	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	1,551	農道の改修整備に伴う一般交通車の車両走行に要する経費の節減等
計		47,421	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農道整備事業（一般農道整備事業）	都道府県名	北海道	地区名	美広3期
-----	------------------	-------	-----	-----	------

1．費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		895,636千円	
年 効 用		65,924千円	
廃 用 損 失 額		36,265	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		33年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0562	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	1,136,766千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.27	

2．年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農産物の生産量の増加	作物生産効果	1,172	砂利道を舗装道に整備することにより作物の砂塵被害が防止され収量が増加 対象作物：牧草
営農経費の節減	維持管理費節減効果	7,519	農道の改修整備に伴う施設の維持管理費の節減 対象施設：道路
	営農に係る走行経費節減効果	49,851	農道の改修整備に伴う農産物運搬及び営農通作の車両走行に要する経費の節減 対象作物：牛乳、牧草
施設更新による従前の農業生産の維持	更新効果	2,602	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：道路
地域の生活環境の保全・向上	生活環境整備効果	4,780	農道の改修整備に伴う一般交通車の車両走行に要する経費の節減等
計		65,924	